Otsuka Track & Field Team
since　1990

2004 年度

埼玉国体　岩佐４位、井幡、村山も入賞

埼玉国体（埼玉県：熊谷市）
岩佐敏弘
ハーフマラソン　1 時間 02 分 46 秒

岩佐（大塚製薬）4位 ハーフマラソン
井幡（大塚製薬）1500メートルで5位

成年男子ハーフマラソン　1時間2分46秒で4位に入った岩佐㊲（大塚製薬）＝埼玉県熊谷スポーツ文化公園陸上競技場

仲間の大声援励みに

岩佐

「これ以上順位は落とせない。天皇杯得点を1点でも多く取りたい」。成年男子ハーフマラソンに出場した岩佐（大塚製薬）は、最後の10キロで埼玉の選手に抜かれそうになったが踏ん張り、トップに8秒差の4位でゴールした。

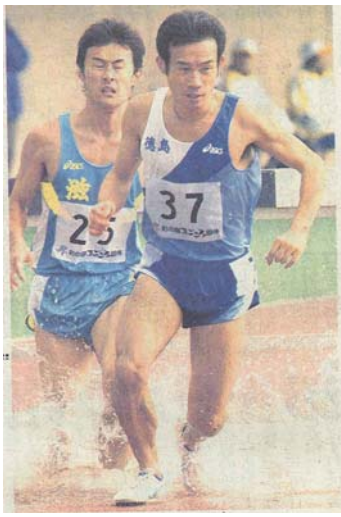
レースはスタートから方にドがり、様子をうかがった。「勝負どころと考え、しびれを切らした岩佐が先頭に出た。ペースに立ったものの後続を振り切れない。逆に残り1キロで数人に前に出られた。「何度も仕掛けを繰り返したエネ疲れ、ついていけなかった」と悔やむ。

スローペース。6キロ過ぎ18キロ以降、再三、先頭場となった今回、多くの入賞者を出した陸上部のトリを務めた。「仲間の大声援が励みになった。優勝できなかったことは残念だが、チームの一員として走る充実感を味わえた」と笑顔で締めくくった。

佐が先頭に出た。ペースを上げ、10キロ付近で9人に絞られた。その後は後ロ日本トップクラスの長距離ランナー。国体初出しがった。

（伊藤）

徳島新聞 10/29



村山（大塚製薬）6位 成年男子3000障害

成年男子3000メートル障害決勝　9分0秒93で6位に入った村山㊲（大塚製薬）＝埼玉県熊谷スポーツ文化公園陸上競技場

成年男子三千メートル障害決勝。ラスト1周からの巻き返しで6位に入った村山（大塚製薬）は「風が強く走りにくかったけど、最後は粘りに粘った」と大きく息を弾ませた。

中盤からペースを上げ、2000メートルは5位で通過。しかし、ピッチが上がらず、残り400メートルでは11位に後退した。「日本選手権5位の意地もあった。このままでは終われないと思った」。その言葉通り、気力を振り絞ってスパートし、前の走者を次々と抜いて6位でゴールに入った。

最後、粘りに粘った

村山

高松工芸高時代から通算8度目の国体で、初の入賞を果した村山は「やっぱり表彰台は気持ちがいい。徳島の天皇杯得点に少しでも貢献できてよかった」と笑顔で話した。

（伊藤）

徳島新聞 10/28